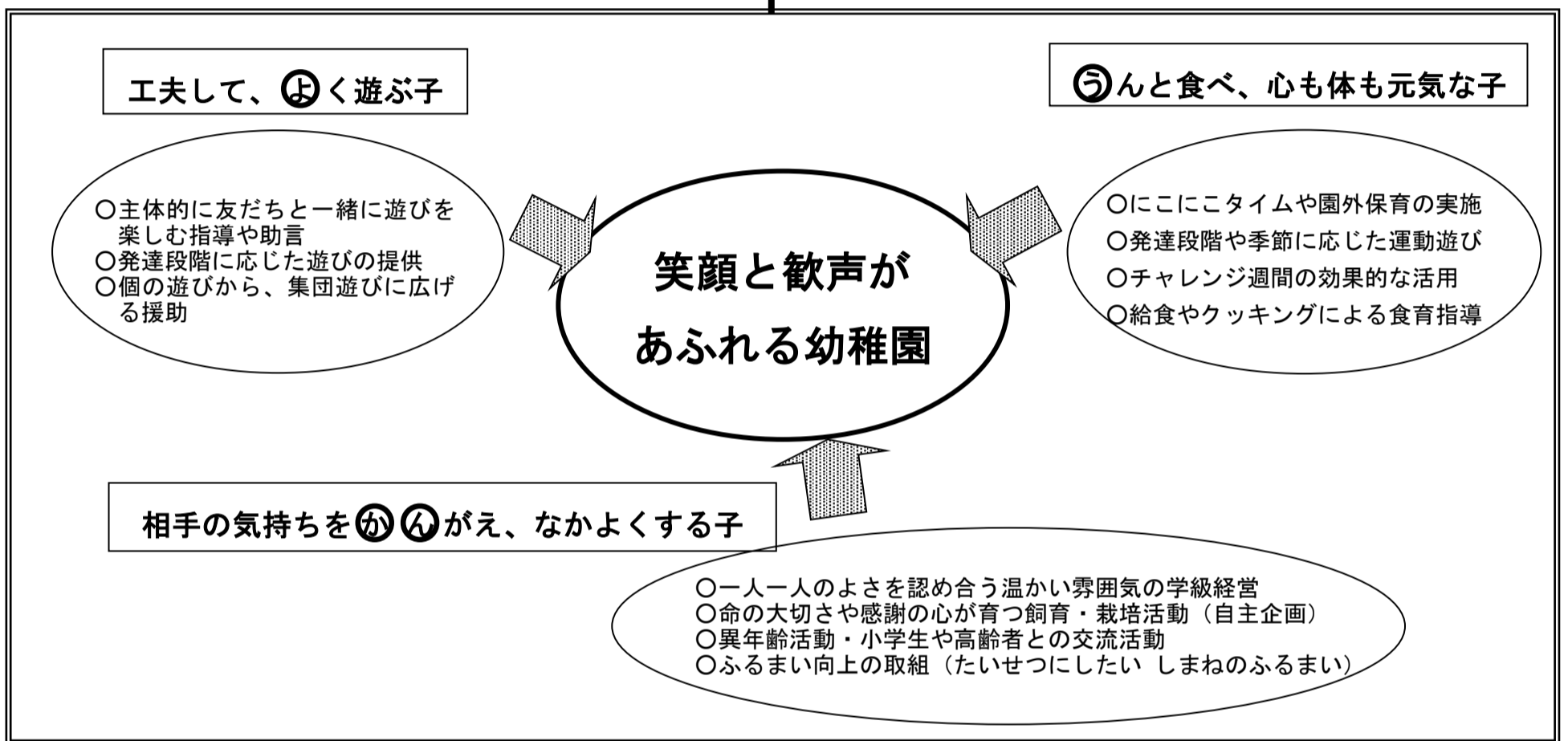
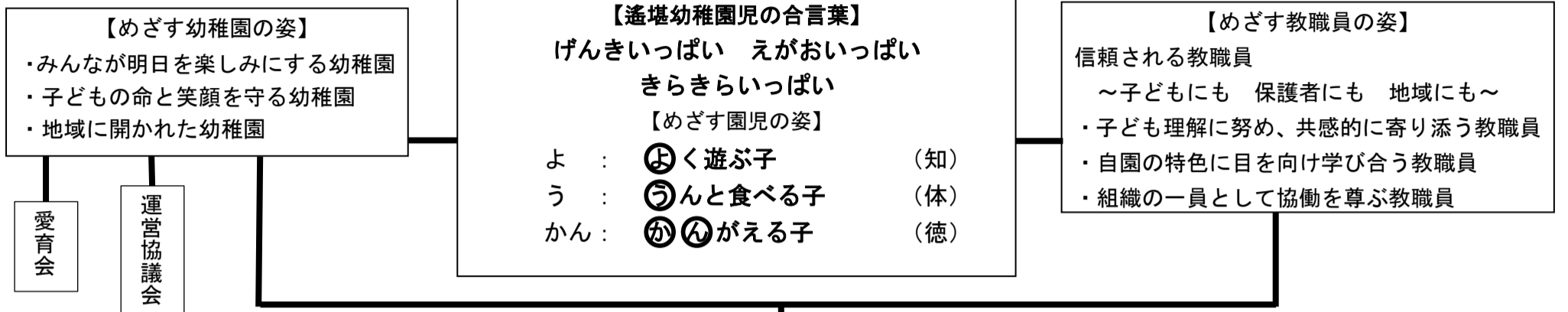


教育目標 自分で考える ころ豊かで たくましい園児の育み



同和教育をすべての保育活動の基底に据える

- ・認め合い、助け合う支持的な風土づくり
- ・一人一人に寄り添った支援

- 【めざす幼稚園像】**
子どもたちが生き生きと目を輝かせ『笑顔と歓声があふれる幼稚園』
- 【めざす幼稚園に向けて大切にすること】**
- 1 幼稚園や地域の特色を活かした教育課程の編成と実践
 - ・一人一人の子どもの実態や背景を把握し、地域の「ひと・もの・こと」を活かしながら教育課程を編成、実施する。
 - 2 心の教育の充実
 - ・「ひと・もの・こと」と関わる活動をととして、道徳性の芽生えや心を育む。
 - ・あいさつや返事、自分のことを話すなど「ふるまい向上」の定着を図る。
 - ・一人一人の子どもの思いや願いに寄り添いながら、自己肯定感を高める。(進路保障)
 - 3 学び(意欲・関心)が高まる指導や援助
 - ・子どもの実態把握に努め、子どもの関心を掴み、広げ、深める。
 - ・遊びの中で困ったことを大切に、解決するために工夫したり、粘り強く取り組みたりする経験を積み重ねる。
 - 4 健康教育、食育の推進
 - ・基本的な生活習慣・望ましい食生活の定着に向け、個に応じて指導する。
 - ・発達段階や季節に応じた体力づくりを継続する。
 - 5 開かれた幼稚園づくり
 - ・積極的な情報の発信や受信に努める。
 - ・PTA・地域学校運営協議会・各種関係機関との連携を図り、経営に活かす。
 - 6 教育環境の整備・充実
 - ・常に危機管理意識をもち、迅速で適切な対応をする。
 - ・適切な環境整備によって、保育効果を上げる。
 - 7 温かさや厳しさのある教職員組織の確立
 - ・「お互いさま」「ありがとう」の精神で、協働意識をもつ。
 - ・研修・研鑽に努め、指導力を高め合う。
 - ・保護者の気持ちに共感して対応する。

- 【本年度の重点項目】**
- ・自分から進んであいさつ
 - ・自分の思いを話す、相手を意識して伝える
 - ・体幹、体力づくりの継続
 - ・いろいろな食べ物をよく食べる
 - ・温かい関わり合い